

新編武藏國風土記稿

豊嶋郡

卷之十三

和書門			
一六五	一〇	號	類
二二	二	函	架
二五	五	冊	

內閣文庫			
一六五	一〇	號	類
二二	二	函	架
二五	五	冊	

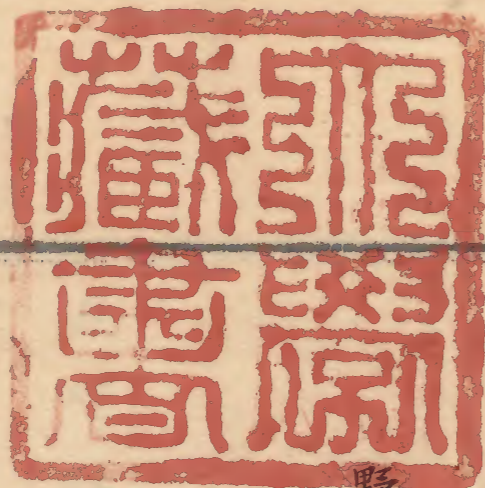
內閣文庫		
番號	和	16510
冊數	255 (14)	
函號	173	210





Faint, illegible text arranged in a grid-like structure on the left page, possibly a ledger or a list of entries.

Vertical text on the right side of the left page, possibly a title or a column header.



新編武藏風土記卷之十三目錄

豊島郡之五

野方領

長崎村

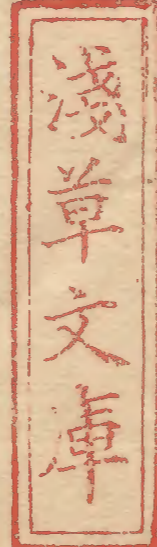
葛ヶ谷村

中荒井村

中村

谷原村

田中村



上石神井村

下石神井村

關村

竹下新田

土支田村

上練馬村

下練馬村

新編武藏風土記卷之十三



郡之五

方領

長崎村

長崎村ハ日本橋ヨリ二里半。民戸五十九。東ハ池袋村。西ハ葛ヶ谷村。南ハ下落合村。北ハ上板橋村ナリ。東西南北共二十丁許。雜司ヶ谷村ヨリ練馬村ニ通ス。往來アリ。幅五間。用水ハ玉川ノ分水ヲ引込ク。北條後帳ニ。太田新六郎知行。十七貫三十文。江戸長崎ト

見エ。正保ノ頃ハ。御料所ノ外。太田新左衛門。大草半
左衛門。木村久左衛門知行ニテ。今モ御料及子孫太
田内藏五郎。大草龜次郎。木村鐵之助。同善右衛門知
行交レリ。善右衛門分地ノ年代。及檢地等詳ナラズ。
高札場 村ノ東南ニ了リ。

小名

推名町 練馬村邊へノ往来ニテ民戸連

住ス。

長崎新田 御料ノ地ヲ云へリ。

西向 境久保 荒井

西原

鼠山 村ノ東南ニテ下落合村ニ隣レリ。山トハイ
へド芝野ナリ。潤サ東西二丁許。南北一丁餘。古へ
柵ノ古木アリシ故或ハ柵山トモ云。今モ若干株
殘レリ。元ハ太田氏采地ノ内ナリシニ。享保十二
年叔公セラレテ。春秋騎馬勢子調馬ノ地ト定メ
ラルト云。北ノ方ニ 御立場跡アリ。又北ノ方耕
地道ヲ 御成道ト云。豈古此地ニ 御狩モ有シ歟。
十羅刹女社 金剛院持。下同シ。
羽黒社

八幡社

辨天社 村民持。下同。

第六天社

太神宮二 一八金剛院。一八村民ノ持。下同。

稻荷社二

金剛院 新義真言宗。多磨郡中野村寶仙寺末。蓮華

山佛性寺ト號ス。本尊五智如來。中興僧ハ貞享五

年寂ス。

鐘樓 鐘ハ寛文中鑄造ナリ。

地藏堂 金剛院持。

葛ヶ谷村

葛ヶ谷村ハ日本橋ヨリ三里餘。家數四十一。東北ノ二
方ハ長崎村。南ハ下落合村。西ハ多磨郡江古田村十
リ。南北九丁。東西七丁餘。用水ハ前村ニ同ジ。小田原
役帳ニ。太田新六郎知行寄子衆配當ノ内。一貫二百
文高田内葛ヶ谷岸分トアリ。正保年中ハ。御料所及細
田加右衛門。木村久左衛門。大草半左衛門。太田新左
衛門知ル所ニテ。今ハ細田加右衛門。木村吉十郎。大
草龜五郎。太田内藏五郎等ノ知行ニシテ。御料ノ地

十

高札場 村ノ中程ナリ。コ、ヲ札ノ辻ト云。

小名

谷戸

山下

桑木原

御靈下

塚田

五段田

原

井草川 村ノ中程ヲ流ル。幅四間許。

御靈社 村ノ鎮守ナリ。例祭正月十三日。自性院持。

下同シ。

末社 牛頭天王

八幡

稻荷社二

天神社

辨天社

自性院 新義真言宗。多磨郡中野村寶仙寺末。西光

山無量寺ト號ス。本尊阿彌陀。

觀音堂 正觀音ナリ。

中荒井村

中荒井村ハ。日本橋ヨリ三里許。民戸百六十二。小田
原役帳ニ。森新三郎。買得十四貫五百文。江戸廻中新
居。元吉原知行ト載ス。正保ノ改ニハ。板倉周防守知
行。中新井村ト記セリ。今ハ御料所十リ。東ハ上板橋
村。西ハ中村。北ハ下練馬村。南ハ多磨郡江古田村十
リ。東西十六丁。南北八丁餘。北ノ方練馬村塚ニ河越
道中概レリ。用水ハ牛川上水ノ分水ヲ引用ス。檢地
ハ。寛永八年。淺田忠右衛門。松井半兵衛。牧野四郎右

衛門。寛文六年。稻垣與九郎。高須貞右衛門。紀セリ。
高札場。小名神明ヶ谷戸ニアリ。

小名

本村

徳田

神明ヶ谷戸

原

北荒井

中通

水川社。村ノ鎮守ナリ。例祭九月十八日。正覺院持。

末社

牛頭天王

天神

稻荷

辨天社二。一ハ正覺院。一ハ村民ノ持。

稻荷社四

何レモ村民持。

正覺院。新義真言宗。多磨郡中野村寶仙寺末。天満

山觀音寺ト稱ス。本尊不動。中興開山契哀。寶曆元

年十月二十五日寂。

觀音堂

焰魔堂。村民持。

觀音堂。正覺院持。

中^{ナカ}村

中村ハ永井庄ト唱フ。當村古ハ多磨郡ニ屬シテ中
鷺村ト唱ヘ。同郡上下鷺村ト並ビタリシガ。後イツ
ノ頃カ下畧シテ今ノ名トナリ。當郡ニ入シト。土人
云傳フ。サレド正保國圖等ハ。既ニ當郡ニ屬シテ中
村ト記シ。其接界モ上下鷺宮ノ中央ニモ當ラサレ
ハ。土人ノ傳ル處誤レルニ似タリ。日本橋ノ行程三
里餘。用水ハ前村ニ同ジ。民戸六十。東ハ中荒井村。西
ハ田中村。北ハ上練馬村。南ハ多磨郡上鷺宮村ナリ。

東西十丁餘。南北八丁程。御入國ノ後ハ井上河内
守ノ領地ニテ。正保年中ハ。今川刑部ノ知ル所ニシ
テ。今子孫今川刑部大輔ニ至ル。
高礼場 村ノ中ニアリ。
八幡社 村ノ鎮守ナリ。南藏院持。下持同ジ。
稻荷社
太神宮
辨天社
水神社
三峯社

金毘羅社

南藏院 新義真言宗。上練馬村愛染院末。瑠璃山醫
王寺ト稱ス。慶安二年藥師堂領十二石八斗ノ
御朱印ヲ賜ヘリ。縁起ヲ閱スルニ。永正年中僧良
辨良辨僧正ト諸國ノ靈場へ法華妙典ヲ納メ。志
願畢リテ後當寺ニ錫ヲトメ。妙經ヲ埋テ一箇
ノ塚トス。今村ノ中程ニ良辨塚ト稱スルモノ是
ナリ。然レテヨリ此寺ニアリテ修法怠ラサリシ
カバ其功空シカラサルニヤ。或日藥師ノ像ヲ感
得セリ。ヨリテ堂宇ヲ興隆シ其像ヲ安置スト云。

今ノ本尊是ナリ。秘佛トシ三十三年ニ一度龕ヲ
開テ拜セシム。又當寺ヨリ白龍丸ト云藥ヲ出セ
リ。曾テ良辨カ夢中感得セル靈法ノ藥丸ナリ諸
病ニ驗アリト云。
鐘樓門 正徳五年ノ鐘ヲカク。
稻荷社
閻魔堂
西光寺 本寺前ニ同シ。紫雲山河彌陀院ト號ス。本
尊阿彌陀。
大日堂 南藏院持。

良辨塚 前ニ云經典ヲ埋メシ塚ナリ。古碑一基ア
リ。モトヨリ其項立シモノトハ思ハレズ。年月モ
彫ラス。

谷原村

谷原村ハ。石神井郷ニ屬ス。北條後帳ニ。太田新六郎知行寄子衆配當一貫七百文。石神井内谷原在家岸分ト載ス。是ニ據レバ古ハ石神井村ニ屬セシ地ナラン。日本橋ヨリ五里。民家百十。東ハ上練馬村。西ハ下石神井村。南ハ田中村。北ハ土支田村。東西十二丁。南北十丁許。用水ハ石神井川ヲ引込ケリ。檢地ハ寛永十六年。興津角左衛門。曾根與五左衛門。淺田次左衛門。豊田甚右衛門。延寶二年。中川八郎左衛門。關口

作左衛門糺セリ。御打入ノ後増島左内ニ賜リ。慶

長年中叔公セラレテ後御料所トナリ今ニ然リ。

高礼場 村ノ北ニアリ。

小名

箕輪

西原

北原

中通

蕪谷戸

七子竹

石神井川 村ノ北ヲ流ル。幅二間半。

千川上水堀 村ノ巽ノ方ニアリ。幅二間許。

氷川社 村ノ鎮守ナリ。長命寺ノ持。

稻荷社 三 一ハ國廣稻荷。一ハ金山稻荷。一ハ稱呼

ナシ。共ニ長命寺持。

長命寺 新義真言宗。大和國初瀬小池坊末。谷原山

妙樂院ト稱ス。本尊不動。古ハ藥師ヲ安スト云。境

内大師堂ノ縁起ニ據ニ。増島勘解由重明ナレモ

ノ當村ニ住シ。佛心深ク兄重國カ第四子重俊ニ

家ヲ譲リ。剃髮深衣シテ慶弐ト號シ。紀伊國高野

山ニ登リ木食勤行スルコト年アリ。或日大師ノ

夢想ニ因テ讚岐國多度郡彌谷寺ニ至リ。師自作

ノ木像ヲ感得シ。速ニ當村ニ歸リ。高野山ニ擬シ

テ一院ヲ營ミカノ像ヲ安置ス。今ノ大師堂是ナ

長命寺境内圖



リ。又云慶元二年六月十二日寂シ。重俊其志
ヲ継諸堂及
大猷院殿御石塔等ヲ建立ス。其規制一ニ高野山
ニ倣フ。因テ東高野山ト呼。又新高野トモ云。寛永
十七年小池坊住僧正秀推舉シテ長命寺ト名ツ
ケ一寺トナセリ。是ヨリ佛燈彌興隆ス。因テ正秀
ヲ請テ開山トス。正秀ハ同キ十八年十月十六日
寂セリ。其後慶安元年境内観音堂領九石五斗ノ
御朱印ヲ賜ハレリ。
金堂 十一面観音ヲ安ス。立像長三寸許。行基ノ

作ナリ。兩脇ニ太神宮春日明神ヲ安ス。此堂ハ
重俊大和國初瀬ニ效テ建立スル所ト云。
大師堂 奥之院ト稱ス。弘法大師ハ木ノ座像。長
二尺餘。建立ノ意趣ハ既ニ上ニ辨セリ。
三社宮 太神宮。八幡。春日。三神ヲ安ス。
鐘樓 慶安三年ノ鐘ヲカク。
大猷院殿御寶塔 此 御代當寺 御朱印ヲ賜
シ故。重俊造立シ奉ル所ナリ。
長命寺碑 寶曆年中立ル所ナリ。當寺ノ来由ヲ
記セリ。

増島氏碑 金我井純卿力製文十月。開基増島氏ノ事歴畧備レリ。

仁王門 隨身ヲモ置リ。

寺中 東光院 觀照院 二院共中古廢シテ

未ダ再興ナラズ。坊蹟ノ之殘レリ。

南光院 長命寺末。天神山管原寺ト號ス。本尊彌陀。

天神社 慶安四年ノ起立ナリ。

舊家者傳左衛門 氏ヲ増島ト稱ス。家系一卷ヲ藏

セリ。其畧ニ先祖重國俗稱左内。小田原北條ノ族

士タリシガ。天正十八年没落ノ後。

東照宮ニ謁シ奉リ。當村及田中ノ兩邑ヲ賜ヒ。後

又加恩アリテ六百石ヲ領シ。慶長年中近江國御

代官タリシ時。賦ニ坐シテ改易セラレ。寛永十七

年九月二十三日。異本系圖。慶長十六年江州ニ於

テ死ス。歳六十九。時ニ其子重俊未夕幼年ナリシ

カハ其弟勘解由重明ニ長命寺増島氏ノ碑名當村

ニ住シテ重俊ヲ扶養シ。成人ノ後家ヲ譲リテ遂

ニ僧トナリ。長命寺ヲ開基ス。重俊八郎右衛門ト

稱シ。再ヒ長命寺ヲ修營シ。後出テ江戸ニ住シ。寛

文二年正月十八日死ス。法名心月道傳。重俊ノ子

ヲ平太夫重光ハ増島氏ノ碑ニト稱ス。寛文十年館
林御館へ召出サレ。延寶八年御勘定トナリ。天和
二年五月九日死ス。其子六右衛門小十人組ニ召
出サレ。子孫今御儒者金之丞是ナリ。六右衛門ノ
弟ヲ傳左衛門ト稱ス。村内ニ住シ専ラ耕作ヲ事
トシ。五代ヲ経テ今ノ傳左衛門ニ至ル。長命寺増
島氏ノ碑名ニ據ニ。増島重胤ハ北條氏ノ支族ニ
テ重興ヲ生メリ。重興重明重國等ヲ生メアリ。

田中村

田中村ハ江戸ヨリ四里。民家七十二。西ハ下石神井
村。東北ハ谷原村。南ハ多磨郡井草村ナリ。東西一丁
餘。南北一丁許ノ小村ナリ。御打入ノ後前村ト同
ク増島左内ニ賜ハリ。慶長以後御料所トナリ。今ニ
然リ。用水及延寶ノ檢地モ前村ニ同シ。谷原村ノ北
ニ飛地アリ。田中新田ト云。
高札場 村ノ西ニアリ。

小名

藥師堂

昔シ堂アリシ所ト云

供養塚

塚越

上久保

石神井川 村ノ北ヲ流ル。幅ニ間半。

稻荷社 村ノ鎮守ナリ。寶藏院持。

寶藏院 新義真言宗。上石神井村三寶寺門徒。慈雲

山ト號ス。本尊不動。

稻荷社

藥師堂

上石神井村

上石神井村ハ。石神井郷牛込庄ニ屬ス。元ハ下石神井村ト一村ナリシト云。正保ノ改ニハ既ニ二村ニ出セリ。往古村内三寶寺池ヨリ石劔出シカバ。里人一社ヲ營ミソレヲ神跡トシ石神井社ト崇ノ祀ルヨリ神號ヲモテ村名トセシト云。社ハ今下石神井村ニアリ。鎌倉大草紙及村内三寶寺ノ縁起寺ニ據ニ。當所ハ豊島氏累世居住ノ地ナリシガ。文明年中太田道灌ノ為ニ亡ビ。上杉氏ノ領地ニ屬セリ。其

後太田新六郎ノ所領トナレリ。小田原役帳ニ太田
 新六郎知行十七貫五百文江戸石神井ト見ユ其後
 此邊戦争ノ嚮トナリ。田宅荒廢セシヲ御入國ノ
 頃。高橋加賀守。同主水。尾崎出羽守。田中外記。櫻井伊
 織。元橋主水等來リテ開墾セリト云。是ヨリ御料所
 トナリ今ニ然リ。加賀守ハ名主平藏カ先祖ニテ外
 五人モ今ニ子孫存セリ。用水及檢地ハ前ノ谷原村
 ニ同シ。日本橋ヨリ五里。民戸二百十。東ハ下石神井
 村。西ハ關村。北ハ土支田村。南ハ竹下新田及多磨郡
 遲野井村ナリ。東西十八丁餘。南北十六丁許。青梅道

村ノ南ノ方ヲ貫ケリ。

高札場 小名沼邊ニアリ。

小名

城山 訖城跡ノ下ニ辨ス。

大門 沼邊 西村

小關 立野 觀音山

池淵 出店

石神井川 水元ハ村内三寶寺池ヨリ流出シテ一
 條ノ川トナリ。下石神井村ニ達ス。幅二間。

池 三寶寺ノ側ニアルヲモテ三寶寺池ト稱ス。石

三寶寺池圖



氷川社



照日塚

水天宮

辨天宮

神井川ノ水元ナリ。古ハ大サ方四五丁餘モアリ
シガ漸ク狭クナリテ今ハ東西六十間餘。南北五十
間餘トナレリ。水面清冷ニシテイカナル大旱ニ
モ水減スルコトナシ。多磨郡遅野井村善福寺池
ト水脈通セリト云。池中多ク蓴菜ヲ生ス。生スル
所ノ魚ハ頭ニ鳥居ノ形アリト傳ヘ。捕モノハ必
崇ヲ紫ルトテ釣網スルコトヲ禁ス。

氷川社 上下石神井關田中谷原五ヶ村ノ鎮守ナ
リ。例祭九月二十日。三寶寺ノ持。下三社同シ。
末社 天神 辨天 天王 第六天

稲荷

辨天社 三寶寺池ノ中島ニアリ。

神樂堂

水天宮 池ノ側ニアリ。

愛宕社 小名城山ニアリ。畧縁起ニ據ニ。文明中太
田道灌豊島氏ヲ攻ルノ時當社ヲ勸請シテ勝利
ヲ祈レト云。

稲荷社ニ一ハ火消稲荷ト稱ス。當社ノ靈驗ニヨ
リ三寶寺火難ヲ遁レシ事アリ。故ニ名ヅク。同寺
持。一ハ村民ノ持ニテ雷谷ヲ神躰トス。長ニ尺五

寸許。

三寶寺 新義真言宗。龜頂山密衆院ト號ス。無本寺
ナリ。古ハ鎌倉大樂寺ノ末ナリシト云。本尊不動。
傍ニ聖徳太子ノ作ノ正觀音ヲ安ス。又勝軍地蔵
ヲ置リ。是ハ村内愛宕社ノ本地ニシテ世ニ希ナ
シ古佛ナリ。年ヲ追テ朽損ゼシカバ慶長十一年
檀越尾崎出羽守資忠任僧頼融ト謀リ修理ヲ加
ベシト云。其後賊ニアヒテ全骸ハ失ヘリ。寺傳ヲ
閱スルニ。當寺ハ應永元年權大僧都幸尊下石神
井村ニ草創スル所ニシテ。同十五年三月九日寂

ス。後屢戰爭ノ災ニ罹テ頗衰タリシニ。文明九年
太田道灌豊島氏ヲ滅セシ後ソノ城跡ヘ當寺ヲ
移セリト云。カ、ル舊刹ナリシカバ。天文十六年
元ノ如ク 初願所タルヘキノ免状ヲ賜ヒ。永祿
十年現住尊海ヲ大僧正ニ任セラル。又北條氏ヨ
リモ寺田ヲ寄附シ。制札等ヲ與ヘテ歸依淺カラ
カリシカハ 御當代ニ至リテモ先規ニ任セラ
レ。天正十九年寺領十石ノ 御朱印ヲ賜ハレリ。
寛永二年正保元年
大猷院殿御放鷹ノ序當寺ヘ 御立寄アリ。例歲

三寶寺境内圖



二月十五日三月二十一日ノ二度ニ常樂會ヲ執
行ス。近郷ノ末寺配役シテ是ヲ勤ムト云。

寺寶

古文書

九通

武烈之寶寺年以往古
為新新所上名以專

法流真年約國聖者
寶祚延長者
天氣如血中一以狀

天冬五年正月廿五日

南寺在流中

永保元年七月廿五日

法印尊法

正轉法大德正

藏教新集卷之四

前
天正四年六月
宣旨

法下順珠

互任權僧正

藏教新集卷之四

賢珍ハ第八世入僧ナリ。此年當寺ノ住持職トナ

レリ。其時ノ宣旨及移轉以前永祿七年四月権大
僧都ニ任シ。同年六月法印ニ移リ。同九年八月権
律師ニ轉セシ等ノ宣旨狀アレド。コ、ニ畧ス。

石神村之寶寺法印を以て付白

及棟古相續之依先師王公一

上名所著下中法印并法印葉

不之取遠の如く上法印寺中

法印僧所書之存如例

上杉三郎景虎初名

天正元年甲戌二月廿五日秀吉

三寶寺

法月齋

三寶寺之因縁

一 殺生極楽之事

一 竹木寺取事

一得精一平

右之十條背者及之十條接者
無負可教他中中
百姓未之少法可走也

壬子年

六月七日

氏秀

石井一實

紫劑

一 於寺内旁取竹木成楮合

此分全殺生本

三

右於遠化之輩去楸楠

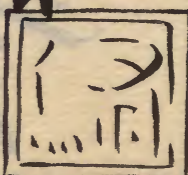
取山若入權門之青思重依

此乃乃之志能至更其名

故乃乃之如件

壬子年^甲十月五日

乙松



森升
三寶寺

禁制

右在尚寺携念此公撰稿

本堂今修七年若凌耗

孝之至也 故為之

作書也 河出

北條氏亮印

天正九年丁亥

十月廿日

江書

三寶寺

一六百石 自前为年首被納过地

去未年米糶合田陸

陸是担押也此年

一八百石 五年首之田畠

主 却合之黄畠糶之田畠

右於南寺久被拘来申来改与

考進人寸角目前之陸納也

六百石之米每年一石進納

四状也

天正十五年

丁亥

十月廿一日

紀伊



印

海保

三寶寺

似家幼少遠出視及尸被多所祓中辛

身事門下釋由寺領田局之事

其於此流者猶於自札裁許之任

如前件也此後之天正而付之

事早之天正也此後之天正而付之

宗福之平中法皇御願

此鐘乃延寶三年所鑄也

松本長右衛門

宗福

十一日

宝壽寺

由良宗平

八幡社 稻荷社

地藏堂 千駄地藏ヲ安ス。

經堂 正觀音ヲ安ス。

鐘樓 延寶三年ノ鐘ヲカク。江戸増上寺ノ大鐘

ヲ鑄レ餘銅ヲ以テ作レリト云。

正覺院 三寶寺ノ門徒愛宕山ト號ス。本尊不動ヲ安ス。

觀音堂

閻魔堂 正覺院持。

觀音堂六 共ニ村民ノ持。

祖師堂 是モ村民ノ持ナリ。

照日塚 三寶寺池ノ北丘上ニアリ。同寺第六世定

宥故アリテ京師ニ上リ。中秋ノ夜雲客ノ雅筵ニ

侍スルコトヲ得テ。

月ハナレ照日ノマ、ノ今宵哉。トイヘル發句

ヲ獻ゼシカバ。事 敵間ニ達シ。照日上人ト 初

號ヲ賜ヒシト云。遷化ノ後コ、ニ葬リ。ヨリテ

カク名付塚上ニ松一株立リ。

石神井城跡 村ノ東ノ方氷川社及三寶寺境内ノ

邊是ナリ。廣サ東西六七丁。南北三丁許。太田豊島

兩系譜及三寶寺縁起等ヲ閱スルニ。豊島権守清

光カ子ヲ右馬允朝經ト云。朝經カ四代ノ孫ヲ三

郎兵衛恭景ト稱ス。是當城ノ主タリ。恭景辛シ其

子朝恭幼ナリシカバ。恭景ノ弟左近大夫景村元

弘年中遺跡ヲ繼。在城シテ朝恭ヲ守立。成長ノ後

所領ヲ返シ當城ヲ讓レリ。朝恭カ八代ノ孫ヲ勘
解由左衛門恭経ト稱ス。文明九年四月恭経弟平
左衛門恭明ト長尾景春ニ一味シ。管領上杉修理
大夫定正ニ背キ。江戸川越ノ通路ヲ塞ギケルニ
ヨリ。太田道灌江戸ヨリ打テ出平左衛門カ平塚
ノ城ヲ取巻。城外ヲ放火シ。手痛ク攻ケルニ。恭
経平塚ヲ救ハン為當城ヲ出テ多磨郡江古田原
沼袋ニ於テ道灌ト接戦シ。恭経恭明敗績シテ一
族ニ十戦死シ。殘兵カツキテ同十八日城遂ニ陷
レリ。鎌倉大草紙ニハ文明九年正月豊島勘解由

左衛門同弟平右衛門。景春ニ一味シ當城及ヒ練
馬城ヲ取立。四月十三日道灌ト合戦シ。恭明ハ敗
死シ。恭経ハ當城ヲ去テ平塚城ニ籠リシ由ヲ載
セ。又天正中年代記ニハ。文明八年四月二十二日
石神井城陷ルト記セリ。前ニ載レ所ト年月タガ
ヘリ。且大草紙ニ據レハ此時始テ當城ヲ築シニ
ヤ。文明落去ノ後當城終ニ廢跡トナリシナルベ
シ。今城地ノ様ヲ見ルニ。山城ト云程ニハアラザ
レド。自然地高ニテ前ハカノ三寶寺池ニ臨ミ。廻
リニ堀アリテエノ池水ヲ引沃ガンニハ。堅固ノ

城郭トナルベシ。櫓ノアリシ跡ニヤ。所々ニ築山
殘レリ。此ヨリ北ノ方ニ城山ト唱ル地アリ。道灌
當城ヲ攻シ時コ、ニ砦ヲ築キ。軍卒ヲ置シ所ト
云。尚平塚城跡豊島村等併セ考ベシ。

下石神井村

下石神井村ハ。郷庄及日本橋ノ里數用水檢地ノ年
代等。前村ニ同ジ。民戸百六十二。東ハ田中村。西ハ上
石神井村。北ハ土支田村。南ハ多磨郡遲野井村ナリ。
東西十丁餘。南北十八丁餘。古ヨリ御料ナリ。
高札場 小名坂下ニアリ。

小名

伊保谷戸

上久保

根河原

坂下

下久保

和田

北原

池淵

石神井川 村ノ南ヲ流レ。巽ノ方ニテ開村溜井ノ
餘流ト合ス。川幅ニ間餘。

石神井社 是村名ノ由テ起リシ社ナリ。神躰ハ則
上石神井村三寶寺池ヨリ出現セシ石劔ナリ。事
ハ同村ニ辯ス。三寶寺持。

神明社 持前ニ同ジ。村ノ鎮守ナリ。

諏訪社 禪定院持

稻荷社 一ハ道場寺。一ハ禪定院。一ハ村民ノ持。

道場寺 禪宗曹洞派。在原郡世田ヶ谷村勝光寺末。豊

嶋山無量院ト稱ス。本尊阿彌陀。又行基ノ作ノ藥

師ヲ安ス。元ハ別堂ニアリシモナリ。當寺ハ石

神井城主豊島左近大夫景村ノ養子。豊島兵部大

輔輝時。應安五年四月十日。此地ニオケテ菩提寺

ヲ起立シ。豊嶋山道場寺ト號シ。僧大岳ヲ延テ開

山トナシ。練馬郷ノ内六十二貫五百文ノ地ヲ寄

附ス。其頃ハ濟家ナリト云。輝時ハ北條高時ノ子

相摸次郎時行ノ長子ナリ。其家滅亡ノ後景村養

ヒテ豊嶋ノ家ヲ継シメシトナリ。事ハ過去帳ニ

詳ナリ。輝時永和元年七月七日卒ス。勇明院正道

一心ト謚ス。中興開山觀堂。慶長六年五月二十六日寂ス。此時今ノ派ニ改ム。時ノ開基徳翁宗隣ハ。小田原北條氏ニ仕ヘシ石塚某ノ子ニテ。幼ヨリ佛心深ク遂ニ剃髮シテ僧トナリ。觀堂トカヲ戮セ堂宇ヲ再建セリ。慶長十年八月朔日寂ス。白山社

禪定院

新義真言宗。上石神井村三寶寺ノ末。照光山ト號ス。願行上人ノ開キシ寺ニテ本寺ヨリハ古跡ナリト云。本尊不動。側ニ閻魔ヲ安ス。是ハ元ハ別堂ニアリ。境内ニ明應四年二月八日妙慶禪

尼ト彫ル古碑アリ。

鐘樓 元禄十六年ノ鐘ヲ槌。

八幡社

河彌陀堂 三一ハ道場寺。一ハ禪定院。一ハ三寶寺持。

觀音堂 二 一ハ道場寺。一ハ村民ノ持。

關村

關村ハ。郷庄及ヒ日本橋ヨリノ行程前村ニ同シ。當所ハ多磨新座兩郡ノ接界ニテ。古ヘ京師ヨリ奥州筋ヘノ街道掛リ豊島氏石神井ニ在城セシ頃。關ヲ構ヘシ所ナリ。今モ大關小關等ノ小名アルハ其遺跡ナリト云。古道ハ今定カテラズ。青梅道村内ヲ貫ケリ。民家九十三。東ハ上石神井村。及竹下新田。西モ竹下新田及新座郡保谷村。北ハ同郡小樽村。南ハ多磨郡吉祥寺西久保ノ兩村ナリ。東西南北各十二丁

餘。用水ハ村内ノ溜井ヨリ引次ケリ。古ヘヨリ御料
ニシテ今モ替ラズ。檢地ハ。寛永十六年寛文四年紀
シ。其餘享保二十年。鈴木平十郎。杉庄右衛門。粕谷金
太夫カ改メシ新田アリ。
高礼場 村ノ中程ニアリ。

小名

大關 オホセキ

小關 コセキ

本村 ホンムラ

關原 セキハラ

葛原 クモハラ

鑱炮塚 チウホウツカ

三ツ家新田 ミツヤニウチ

札野 フダノ

二ツ塚 フタツツカ

小額 コヒキ

溜井 村ノ西北ノ方ニアリ。廣サ六十間。モシクハ
百間程ノ處アリ。上下石神井田中谷原及當村合
五ヶ村組合テ修理ヲ加ヘ用水トス。是ヲ石神井
用水ト云。餘流下石神井村ニテ石神井川ニ合ス。
三十番神社 村ノ鎮守ナリ。本立寺持。
稻荷社 最勝寺持。
辨天社 當村多年水災ニ困ノリ。近キ頃御勘定武
嶋菅右衛門。巡見ノ頃深ク是ヲ憐ミ。己カ尊崇セ
レ辨天ノ木像ヲ與ヘケルニヨリ。カノ溜井ノ側
ニ安置シ。水艱ヲ祈リケレバ。其擁護ニヤヨリケ

ン。今ハ其惠ニカ、ルコト希ナリ。

本立寺 法華宗。新座郡小樽村妙福寺末。法耀山ト
號ス。本尊三寶祖師ヲ安ス。開山日譽。寛永二年寂
ス。當時名主ヲ勤ノシ政右衛門ト云ヒシモノ開
基セリト云。

最勝寺 新義真言宗。上石神井村三寶寺末。開星山

ト號ス。本尊觀音。開山弘印。寛永二年寂ス。

寮三 二ハ日蓮ノ像ヲ安シ。一ハ藥師ヲ安ス。共ニ
村民ノ持。

石地藏像 座像長六尺。青梅道ノ北側ニ立リ。關ノ

地藏ト云。祈願ヲナスモノ石ニテ打バカ子ノ音
アルヲモテ。カンク地藏トモ云。傍ニ圍三尺許十
ル柳一株タテリ。

舊家者彌兵衛 名主ヲ勤ム。井口ヲ氏トス。先祖某
ハ伊豆國伊東ヨリ出。鎌倉没落ノ後子孫當所ニ
住シ。遙ノ後伊藤八右衛門某ノ時松平越後守光
長ニ仕ヘ。元和九年越後國ニテ三百石ヲ領セシ
ガ。後又浪士トナリテ當村ニ歸リ住シ武藏野新
田開發ノ頃ハ野守ノコトヲ奉レリト云。其後故
アリテ今ノ氏ニ改ム。元和中越後守光長ガ與ヘ

レ知行書出シノ文尾ノ如シ。

新領領之書

一 信石村

魚沼素直

里新領領村

一 羅七名五ヶ屋下名

魚沼素直

小新領村

一 七條山名六ヶ屋

夷考

小代名新領村

一 早後名六ヶ屋

新領

長瀬村

一 二條名六ヶ屋

山名

信濃村

一 三條名六ヶ屋

新領

大田村

高令三百名

右令の度知司の事

之新九
亥年
有日



伊豆守

竹^{タケ}下^{シタ}新田

竹下新田ハ。關上下石神井三村ノ秣場ナリシヲ。天明四年。竹下忠左衛門ト云浪士來リ願ヒ上テ新墾セシ地ナレバ。カク名付ト云。同年飯塚伊兵衛檢地シテ貢數ヲ定ム。日本橋ヨリノ行程。前村ニ同ジ。民戸十九。西ハ關村。北ハ上下石神井村。東南ハ多磨郡遲野井村ナリ。東西十丁。南北三丁許。此餘關村ヲ越テ新座郡ノ界ニ。東西四丁。南北二丁ノ地ナリ。昔梅道村内ヲ貫ケリ。新墾以來御料所ナリ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

久保クボ

千川付チカウツキ

前野マノ

淵崎フナサキ

千川上水堀 村ノ中程ヲ達ス。幅二間許。

辨天社 村ノ鎮守ナリ。谷原村長明寺ノ持。

稻荷社 村民持。

大學院 當山修驗。江戸青山鳳閣寺配下。本尊不動。

土支田村

土支田村ハ。日本橋ヨリ五里餘。小田原役帳ニ。太田
新六郎知行寄子衆配當ノ内。六貫五百文。江戸土支
田源七郎分ト載ス。民家二百十九。東西三十二丁。南
北十一丁餘。東ハ上練馬。上下赤塚ノ三村。南ハ田中。
上下石神井ノ三村。西北ハ白子川ヲ隔。新座郡小樽
村。及白子村ナリ。古ヨリ御料所ニテ。寛文三年。稻葉
美濃守。同六年。伊奈半十郎檢地ス。土人私ニ村内ヲ
二區ニ分ケ上組下組ト唱フ。

高札場

村ノ中程ニアリ。

小名

井頭井ノカミラ

甫村ホムラ

下屋鋪シモヤシキ

前原マヘハラ

以上上組ニアリ。

三丁目サンチウメ

俵久保ヒラウクホ

八丁堀ハチチウボリ

土橋ドバシ

以上下組ニアリ。

白子川

新座郡ノ堺ヲ流ル。川幅ニ間許。

三十番神社

村ノ鎮守ナリ。妙延寺ノ持。

天神社

妙安寺持。

妙延寺

法華宗。下總國中山法華經寺ノ末。信光山

ト號ス。本尊釋迦。開山日宜。慶長三年七月寂ス。開基豈性院日安ハ。今ノ名主彌四郎ガ本家ノ祖ニテ。加藤作右衛門ト稱シ。寛永十五年二月終ル。大鐘 年號ヲ彫ラズ。客殿ノ簷ニカク。

妙安寺 同宗。駿河國蓮永寺末。長久山ト號ス。本尊釋迦。開山日雄ハ元和元年九月寂。當寺ハ板倉河波守ノ先祖四郎兵衛ト云モノ、開基ナリ。此人寛永二年八月辛シ。法名決山源英ト號スト云。按ニ板倉家譜ニ。伊賀守勝重。少名四郎右衛門ト稱ス。寛永元年四月二十九日辛シ。法名慈光院傑山

源英ト見ユ。是年月法號トモ異同アリド。略年代
等相似タレバ。若クハ勝重ガコトニシテ。寺傳タ
マタマ誤レレニヤ。

本覺寺 同宗。雜司、谷村法明寺末。法光山ト號ス。開
山日圓。元和三三年十月化ス。開基法光院常蓮。俗稱
ヲ小島兵庫ト云。慶長元年八月十一日死ス。本尊
釋迦。

上^{カミ}練^{ネリ}馬^バ村

上練馬村ハ。松川庄ト唱フ。相傳フ往昔此地原野十
リレ頃。篠某ト云浪士来リ住ミ。近國ノ牧場ノ馬ヲ
盗ミ来リ。コ、ニテ調練シ。他ニ鬻ク事ヲ業トシ。後
浪游ノ士ヲ呼集ノ。此地ヲ開墾ス。ヨリテ練馬ノ名
起レリト云。其馬ヲ調練セシ地ハ。今ノ下練馬村金
乘院門前並木ノアタリナリト云傳フ。北條役帳ニ。
中村平次左衛門。三十八貫六百八十文。江戸練間豊
前方。及ヒ金曾木。百貫文。江戸練間。島津孫四郎十四

貫文豊島之内清光寺分。練間ニモ有之。志村ニモ有
之ト見ユ。正保ノ改ニハ。上下ニ村トス。日本橋ヨリ
四里。戸數四百八十軒。東ハ下練馬村。西ハ谷原村。南
ハ中村。北ハ上下赤塚ノ二村ナリ。東西南北各二十
五丁許。用水ハ石神井川ヲ引沃ゲリ。此地蕪蘿蔔ヲ
名産トス。當村ニ多磨郡青梅ヘノ間道係レリ。御
入國以來御料所ナリ。檢地ハ寛永十六年。永田八兵
衛。宇野八郎兵衛。高橋與左衛門。延寶元年。中川八郎
左衛門。竹村與兵衛。紀セリ。其後寶曆十一年。伊奈半
左衛門新田ヲ改ム。

高札場

村ノ東ニアリ。

小名

海老谷

説城跡ノ下ニ辯ス。

中ノ宮

高松

貫井

田柄

石神井川 村ノ南ノ流ル。川幅二三間。

八幡社 村ノ鎮守ナリ。社領八石ノ御朱印ハ。慶

安二年十一月十七日附セラレ。神明春日ヲ合殿

トス。愛深院持。

稻荷社 六 一ハ圓光院。一ハ愛深院。一ハ高松寺。一

八養福寺。二八成就院ノ持。

愛宕社

金山権現社

神明稻荷合社 已上村民ノ持。

子権現社 圓光院持。

第六天社二 共ニ愛深院持。

六所権現社 壽福寺持。

飯綱権現社 養福寺持。

神明社 泉藏寺持。

愛深院 新義真言宗。京都御室仁和寺末。練月山觀

音寺ト號ス。本尊愛深ヲ安ス。中興尊智。正保三年

三月二十四日寂ス。寺領十二石一斗ノ 御朱印

八。慶安二年十一月十七日賜ハレリ。

鐘樓 元禄十四年ノ鑄造ナリ。

圓光院 愛深院末。南池山貫井寺ト號ス。本尊不動。

開山圓長。天正十三年六月十一日寂ス。

天神社

觀音堂

壽福寺 同院門徒。下四个寺共ニ同ジ。大林山最勝

院ト號ス。藥師ヲ本尊トス。開山秀信。万治二年十

二月寂ス。

十羅刹女社

高松寺 双林山ト號ス。本尊藥師ヲ安ス。開山榮俊。延寶三年十一月十九日寂ス。

養福寺 寶樹山知光院ト號ス。本尊彌陀ノ石像ヲ安ス。開山長空。万治二年三月二十二日寂ス。

泉藏寺 長松山地藏院ト號ス。本尊阿彌陀。開山宥海。慶安五年四月十六日寂ス。

成就院 不動ヲ本尊トス。練馬城趾 村ノ南ニアリ。土人或ハ矢ノ山ト云。鎌

倉大草紙ニ。文明九年正月。長尾景春一味ニハ。武

州豊島郡ノ住人豊島勘解由左衛門。按ニ泰經ニ同弟平

左衛門。按ニ泰明ニ石神城練馬城ヲ取立。江戸川越ノ通

路ヲ取切。四月十三日。太田道灌江戸ヨリ打テ出

テ。平左衛門ガ平塚城ヲ取巻。城外ヲ放火シ歸ル

所ニ。勘解由左衛門石神城練馬城ヨリ攻來リ。道

灌ト江古田原沼袋ト云所ニテ合戦シ。平左衛門

ヲ始トシテ一族百五十人打死スト載タリ。又或

説ニ。海老名左近ト云者ノ居城ナリト。コハ豊島

氏落去ノ後。又コ、ニ居リシニヤ。是ヨリ北ノ方

三丁許ニ海老谷ト唱ル地ハ。則左辺ノ居跡ナリ
ト云。寛永年中開墾シテ平地トナレリ。故ニ其廣
狭等今ヨリ計ルベカラズ。

下^{シモ}練^{ネリ}馬^マ村

下練馬村ハ。庄名及用水等前村ニ同シ。日本橋ヨリ
三里許。民戸四百二十六。東ハ上板橋村。西ハ上練馬
村。南ハ中荒井村。北ハ徳丸本村。及脇村ナリ。東西二
十八丁。南北一里程。コ、モ蘿蔔ヲ名産トス。當所ハ
川越道中ノ馬次ニシテ。上板橋村ハ二十六丁。新産
郡下白子村ハ一里十丁ヲ継送レリ。道幅五間。此道
ヨリ北ニ分レ、道ハ。下板橋宿ハ達シ。南ハ折ルレ
ハ。相州大山道ハノ往來ナリ。御打入以來御料所

ニテ今ニ然リ。檢地ハ。延寶元年十一月。竹村與兵衛。
中川八郎左衛門改メ。其後開キレ新田ハ。寶曆十一
年伊奈半左衛門改ム。

高札場 川越道ノ傍ニアリ。

小名

今神

濕化味

三軒在家

早淵

田柄

宮谷戸

宿

本村

石神井川 村ノ南ヲ流ル。幅五間。石橋ヲ架ス。正久ノ
保橋ト呼。川越往來ナリ。長五間。

神明社 清性寺持。

末社 緋荷

白山社 穢多住居ノ内ニアリ。

金乘院 新義真言宗。大和國初瀬小池坊末。如意山

万徳寺ト號ス。本尊愛深ヲ安ス。又不動ヲ置リ。コ

ハ古ノ本尊ト云。寺領十八石九斗餘ノ 御朱印

ハ。慶安二年十一月十七日賜ヘリ。開山行榮。元和

三年五月二十七日寂ス。開基ヲ木下大炊助ト云。

慶長十七年八月二十四日死シ。法名光明院基法

道嚴ト號ス。子孫世々當村ノ農民ナリシガ。後年

廢家トナリ。今其分家作左衛門ト云者殘レリ。

八幡社 牛頭天王社

閻魔堂

鐘樓 元禄十一年七月鑄造ノ鐘ヲカク。側ニ椎

木アリ三圍許。

清性寺 金粟院末。下三ヶ寺共ニ同ジ。神明山觀音

院ト號ス。本尊不動ハ弘法ノ作。長一尺二寸立像

ナリ。法流開山快遍。寶曆八年二月二十七日化ス。

天神社

圓明院 惠日山西光寺ト號ス。本尊不動。開山行真

ト云。

稻荷社 辨財天社

鐘樓 寛延二年十二月鑄造ノ鐘ヲカク。

莊嚴寺 醫王山不動院ト號ス。本尊不動。開山良仁。

天正二年二月三日寂。

神明社 牛頭天王社

鐘樓 天和二年二月鑄造ノ鐘ナリ。

光傳寺 大明山無量院ト號ス。本尊不動。法流開山

教惠。寶曆十年十二月十二日化ス。

天神社

大明山無量院

閻魔堂

地藏堂

鐘樓

享保十一年鑄造ノ鐘十リ。

威徳院

同寺ノ門徒十リ。下三ヶ寺並ニ同ジ。西光

山ト號ス。

本尊彌陀。

天神社

松林寺

明王山ト號ス。本尊不動。

氷川社

村ノ鎮守十リ。

稻荷社

疱瘡神社

高德寺

瑠璃山ト號ス。本尊藥師。

天神社

東林寺

藥王山ト號ス。本尊藥師。

辨天社

神躰秘佛ニシテ。天長七年七月七日。弘

法大師

江嶋辨財天へ參籠シ。一万座ノ護摩ヲ

修シ。

其灰燼ヲモテ作ト云。

觀音堂

坂東札所ノ寫ニテ三十三躰ヲ安ス。光傳

寺持。

阿彌陀堂

二一ハ金衆院持。一ハ清性寺持ニテ彌

陀ハ春日ノ作十リ。

地藏堂

金衆院持。

屋鋪跡

村ノ南ニアリ。右馬頭ト稱セラルモノ住ス

ト云。其姓氏及何人タル事ヲ傳ヘズ。今陸田トナ
リ。御殿表門裏門等ノ小名アリ。礎石ナト堀出ス
事マ、アリト云。

新編武藏風土記卷之十三終

新編 武蔵 上巻 三十一

武蔵 上巻 三十一
一、武蔵 上巻 三十一
二、武蔵 上巻 三十一
三、武蔵 上巻 三十一
四、武蔵 上巻 三十一
五、武蔵 上巻 三十一
六、武蔵 上巻 三十一
七、武蔵 上巻 三十一
八、武蔵 上巻 三十一
九、武蔵 上巻 三十一
十、武蔵 上巻 三十一

